

# 環境に優しく、災害時にも安心な ZEVへの転換を検討しませんか!?



## ZEV(ゼロエミッションビークル)とは・・・

走行時にCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）などの排出ガスを出さない自動車のこと。  
ZEVには、EV、PHV、FCVの3種類があります。

**EV**  
(電気自動車)

バッテリーに充電した電気だけで走行します。

**PHV**  
(プラグインハイブリッド自動車)

バッテリーに充電でき、電気とガソリンで走行します。充電した電気だけでも走行可能です。

**FCV**  
(燃料電池自動車)

水素を燃料とし、水素と空気中の酸素で発電した電気で行きます。水素は専用の水素ステーションで補充します。

## ZEV転換の3つのメリット

### メリット1 環境にやさしい!

ZEVは、**走行時のCO<sub>2</sub>排出がゼロ!**  
ガソリン車で10km走行した際に排出するCO<sub>2</sub>を1日で吸収するには杉の木52本が必要です。



### メリット2 乗り心地が快適!

ZEVは、ガソリン車のような音や振動がなく、スムーズに加速するため**乗り心地が快適**です。

### メリット3 災害のときも安心!

ZEVの多くは、車内に備えられたコンセントや外部給電器を利用することで、**災害等の停電時に電気を使えます。**

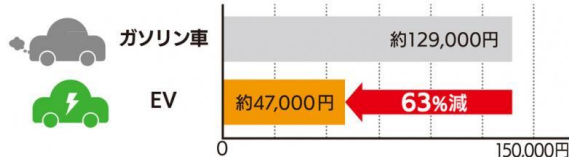


### しかもEVなら... 走行コストが安い!

年間の走行距離10,000kmの場合、EVの走行に必要な1年間の充電代は約47,000円。一方、ガソリン車の燃料代は約129,000円です。

また、基本的に自宅で充電するため、ガソリンスタンドに行く手間が省けます。

#### ■ 10,000km走行時のコストの比較



※ガソリン車の燃料代は、13km/L、168円/Lで計算  
※EVの充電代は、6.5km/kWh、31円/kWhで計算



# ZEVの導入をお考えの皆様へ

## EV・PHVを導入するなら

【中小企業者等向け】

①専用サイト



### 「災害時電源EV・PHV導入促進事業」



申請期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

※予算に達し次第受付終了（受付先着順）

#### 対象者

- (1) 県内に事業所を有する中小企業者等※
  - (2) (1) とリース契約を締結した事業者
- ※ 中小企業者、中小企業団体、医療法人、社会福祉法人、学校法人、青色申告を行っている個人事業主等

#### 要件

- (1) 給電機能付きの車両
- (2) 栃木県災害時協力車登録制度への登録

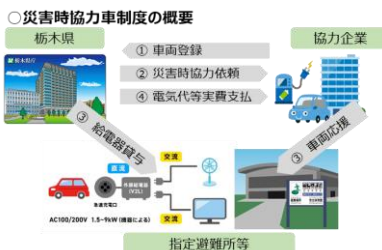
#### 対象車両

国の補助金※の交付対象となるEV又はPHV

※経済産業省「グリーンエネルギー自動車導入事業補助金」

#### 補助金額

1台あたり20万円（定額）



詳しくは県HPへ

栃木県災害時協力車登録制度



## FCVを導入するなら

【個人・法人向け】

②専用サイト



### 「燃料電池自動車導入促進事業」



申請期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

※予算に達し次第受付終了（受付先着順）

#### 対象者

- (1) 県内に居住する個人
- (2) 県内に事業所を有する法人
- (3) 上記の個人又は法人とリース契約を締結した事業者

#### 対象車両

国の補助金※の交付対象となるFCV

※経済産業省「グリーンエネルギー自動車導入事業補助金」

#### 補助金額

国補助金の1/2以内（上限：100万円）

## さらに・・・

## 国の補助金との併用が可能！！

### ■令和5年度補正 補助上限額

車別	上限額	車別	上限額
EV	85万円	PHV	55万円
軽EV	55万円	FCV	232万円

※導入する車両により補助額が異なります。

お問い合わせ

一般社団法人次世代自動車振興センター

TEL：0570-001-136（ナビダイヤル）

受付時間：10:00～12:00 / 13:00～16:00  
（土・日・祝日、年末年始は休み）

URL：<https://www.cev-pc.or.jp/>



## 問い合わせ先